

祝
50 周年

一般社団法人 日本女性薬剤師会が
50 周年を迎えました



ことし 6 月 24 日には目黒の雅叙園において盛大な記念祝賀会が開催されました。

今回、この祝賀会の写真も載せた 50 年史が近藤会長の編集の下、これまでの歴史を継承しつつ、新たに躍進している最近 10 年の確かな足跡として出来上がりました。50 年史には近藤会長のご指導を受け、私たち各県女性薬剤師会長報告を載せていただきました。

先達の先生方の足跡を、この記念史に触れることで確認することができます。女性薬剤師会がなぜ女性薬剤師会であり続けなければならなかったのかを知る大事な一冊となりました。

この 10 年、法人化をし、薬剤師認定制度認証機構の研修認定を取得、更に事業の確立、生涯にわたる研鑽は私たち女性薬剤師の強い見方です。その様子が見事に書かれた 50 年史は、私たち後に続く女性薬剤師会のバイブルになるはずです。

この度、この記念史が届き手にした時、埼玉県女性薬剤師の理事全員に渡さなければと思いました。そして 20 冊を購入し、第 45 回一般社団法人日本女性薬剤師会関東ブロック研修会を担当した記念も兼ね配りました。埼玉県薬剤師会にも謹呈し、たいへん喜ばれました。

近藤会長の強い想いが込められています。是非皆さまご活用下さい。

埼玉県女性薬剤師会 渡邊美知子

開催日：平成 29 年 6 月 24 日（土）
時間：18 時 00 分～20 時 00 分
会場：ホテル雅叙園東京 華しずか

- ・開会の辞：一般社団法人日本女性薬剤師会 副会長 小縣悦子
- ・日本女性薬剤師会の歌 斉唱
- ・会長挨拶：一般社団法人日本女性薬剤師会 会長 近藤 芳子
- ・来賓祝辞：参議院議員 藤井基之様
- 厚生労働大臣官房審議官 森 和彦様
- 公益社団法人日本薬学会（前会頭）太田 茂様
- ・来賓紹介
- ・祝電披露
- ・乾杯・会食・歓談
- ・復興支援ソング「花は咲く」斉唱
- ・閉会の辞：一般社団法人日本女性薬剤師会 副会長 金田一成子

（一社）日本女性薬剤師会
新任県女性薬剤師会長座談会

日本女性薬剤師会創立 50 周年記念祝賀会後、慌ただしい中、府県女性薬剤師の新会長の座談会を開催した。テーマは「各県女性薬剤師会からの提案」～地域からの情報発信が日女薬の力になる～であった。新任会長 8 名と日女薬役員 5 名が集い意見を交わした。

渡部副会長から、次世代へ繋ぎたいという会長の思いと会員がお互い意見を深めることで変わってほしいと言う開催趣旨の説明から始まった。
・石川県は、研修会時の託児を開設し、今後、未就業薬剤師のバックアップとして実務研修を企画している。

・愛知県は、会員数の減少と会費納入に関しての質問があった。通信講座を積極的に進めることで、いくらかの会費の補助になると思われるとの意見がでた。

・福島県は、これから女性薬剤師に問題が出た場合、個人での訴えではなく、団体で主張することで世の中に受け入れてもらえるのではと思います、どうしたら女性薬を継続できるかを考えながら活動している。今回の「移動セミナー」で結束を固めたい。

・新潟県は、復職支援として昨年発売された新薬の総復習研修会をしている。他職種連携として、栄養士会と腎不全患者への料理教室を開催した。

・高知県は、役員の後継者が見つからないのが現状である。しかし、時代にあった日女薬の事業に参加することで得るものが多いので継続していきたい。女性薬は、県薬・病薬にも属していない薬剤師の受け皿として位置付けている。



・京都府は、若い女性薬剤師会員も増えている現状ではあるが、理事になる人がいない。近畿ブロックは京都だけが残っているので他県からの通信講座受講者がいて、スクーリング参加者は多くなってきている。

・佐賀県は、男女共同参画委員会という組織の中で活動している。男性にも女性薬剤師の視点を理解していただけるように参画してもらっている。キッズルーム利用者も男性利用者が多くなった。

最後に、小縣副会長から、各県女薬それぞれ会運営に関して、悩んでいる現状であるが、自分たちが動かさないと待っていても進まない。各県女薬ごとに違う状況を把握して、理事になられた方のそれなりの努力をお願いしたい。女性薬は、必要だからこそ 50 周年とここまで続いてきた。皆で話し合っ、進めてもらいたい。最近、都女薬で託児ならぬ認知症のご両親を連れて研修会にみえた方がいた。90 分 3 講座ずっと座っておられた。これが女性の視点での事業だと思つと、締めくくられた。

祝
50周年

全国交流会 in 東京 報告

平成29年10月7日全国交流会 in 東京が「がんこ銀座一丁目店」において開催されました。銀座の夕暮れと人ごみを楽しみながら、会長を筆頭に全国各地から28名の参加があり、夕食は女性にぴったりのメニューでどのテーブルも情報交換で盛り上がりました。食事会も一段らくしたところで、「みんなでおしゃべり！言いたい放題！！」と銘打って50周年史から感じたことを参加された方に話して頂く企画です。



- ・北陸信越薬剤師大会のブースに展示しました。歴史が分かって良かった。
- ・材質がすばらしい、これからの道しるべになった。
- ・会員に伝えていきたい。30年史は県女の60周年史に生かされた。
- ・先輩に感謝し、後輩に繋げていきたい。とてもタイムリーな内容だと思う。
- ・移動セミナーで頑張ったことが書かれていてとても嬉しかった。
- ・「女性薬剤師会の灯を消さない」と強く思って行動していきたい。
- ・これからもできる事を頑張っていきたい。
- ・医療法に薬剤師が入っていなかった時代は「医師は薬、歯科は金(歯)、薬剤師はちり紙を売っているのか？」という声があった。政治家を始め先達の薬剤師が苦勞したことで現在がある。先輩の苦勞、頑張りを無駄にはいけないと思う。
- ・39年前に近藤会長に出会った事、事務所を移った時の経緯を思い出している。会長は、常に各職能団体に積極的に参加されたり、多くの人脈と交流される中で、時代に合った話題を提供され、リーダーシップを発揮されている、これからは地域医療を担う県女薬の地域での活躍が益々大事となり、調剤だけの薬剤師におさまってはならない時代だとおもう。等々

近藤会長は、「50年史序文と編集後記に重要なことは書いた。この年史は、文献、書籍、日薬120年史など多くの資料を参考に調べ直し、できるだけ正確さを記した。これからの道しるべとなると思う。日本女性薬剤師会はこれからも続いていかないといけない、これからが大事な時代となる。今後は若い人と協調し自己研鑽で力をつけ、多職種とともに在宅医療で看取りにも関わることのできる薬剤師が必要になるでしょう」と話されました。

会場には次々と参加者からの熱い思いが溢れだし、女性薬剤師の力強さを再認識した交流会になり、夕闇の中を熱い心を持って散会となりました。難しい課題は多いが、女性薬剤師だからこそできる事が多いと思う交流会でした。準備を一手に引き受けて頂いた埼玉県渡邊会長はじめ、参加された皆さま、本当に有難うございました。

日女広報担当理事 田口とし子

日女から国際社会への発信を

10月の日本薬剤師会学術大会では、国際薬剤師・薬学連合(FIP)会長であるDr. Carmen Pena-Lopez氏の特別講演が、山本日薬会長の座長で開催された。

FIP会長の講演では、超高齢化社会に向けてFIPが提唱する、ケアを基本とする医薬品に関する専門性の構築の柱である「人」「サービス」の2要因について述べられた。特に「サービス」の領域における公衆衛生と臨床薬局の2点の重要性を上げ、薬剤師への教育と研究の必要性をあげた。講演後には、本会小宮山副会長が、日本における育児、介護による薬剤師の中途退職の問題と薬局薬剤師の臨床研究についての、国際的な動向に関する質問があった。前者に関しては、どの国でも同じ課題を抱えており、FIPでの今後の検討課題となるであろう事、研究に関しては各国がそれぞれ対応すべき課題であるとの回答を得た。

FIPには日女としては今まで参加していなかったが、これを機会に国際的にも積極的な日女からの発信が期待される。

第50回日薬学術大会(東京) 口頭発表 市場みずぶさん

10月8日・9日に開催された第50回日薬学術大会(東京)で「健康サポート薬局・かかりつけ薬剤師養成のための取り組み」という演題で口頭発表をいたしました。



平成28年4月厚生労働省は地域包括ケアシステムの推進として、「健康サポート薬局」制度がスタートした。その中で「かかりつけ薬剤師」になる基準の中に、薬剤師認定制度認証機構等の研修認定を取得していることが必須となっている。当会は平成24年12月に研修認定認証番号G16として認められ、その特徴の一つとして、小論文投稿により2単位を習得出来る講座がある。通信講座受講生の探求心の維持・継続を支援するために、日常業務の中で、“何故?”という疑問符を持って、多方向から考えてみる習慣を身につけ、疑問を解決していく糸口や「まとめる力」を指導し、論文の書ける薬剤師養成を目的としている。自己研修に前向きな復職或いは生涯現役を希望する薬剤師が非常に多いことは、平成28年度厚生労働省生涯教育推進事業の実施により明確となり、平成28年度の投稿数は260報であった。平均点は78.3点であった。実力はあっても発表の手段がわからない薬剤師を発掘出来たことは大いに意義があるように考えている。その中で優秀な小論文を選択し、学会誌・会報に投稿できるように指導を加えている。今後「かかりつけ薬剤師」としてプライマリケアから症例報告・結果までを学会誌に発表し、情報交換が出来るような実践力が要求されることが考えられ、そのプレ教育の場として支援したいと考えている。

薬事日報に近藤会長の インタビュー記事が掲載されました

薬事日報11月10日(金)号に日本女性薬剤師会創立50周年によせて近藤会長のインタビュー記事が掲載されています。女性薬剤師の地位向上、法人化による組織強化、生涯学習の体系化等々大きく報道されています。ぜひご覧ください。

